

令和3年度 第149回 奈良市清掃業務審議会 会議録概要版

開催日時	令和4年3月28日（月）15時00分から16時50分まで		
開催場所	奈良市環境清美工場 管理棟2階 見学者ホール		
出席者	委員	原田会長、河野委員、作間委員、清水委員、中井委員、中岡委員、福岡委員、吉田委員、和田委員【計9人出席】（徳野委員、峯川委員は欠席）	
	事務局	奥田部長、山口次長、矢倉参事（収集課長事務取扱） 廃棄物対策課：鈴木課長、山森課長補佐、川本係長、岩崎係長、上田 まち美化推進課：中室課長 環境清美工場：今井場長 土地改良清美事務所：東所長 環境政策課：穴尾課長 クリーンセンター建設推進課：稲場課長	
開催形態	公開（傍聴人0名）	担当課	環境部 廃棄物対策課
議題又は案件	・審議事項1 奈良市一般廃棄物処理基本計画の策定について ・審議事項2 令和4年度奈良市一般廃棄物処理実施計画について ・報告事項1 奈良市災害廃棄物処理計画の改定について ・その他報告事項		
決定又は取りまとめ事項	1 令和4年度から令和13年度までの10年間における奈良市一般廃棄物処理基本計画について一部文言修正のうえ策定承認 2 令和4年度奈良市一般廃棄物処理実施計画の内容について承認		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1. 審議事項1 奈良市一般廃棄物処理基本計画の策定について

事務局から、一般廃棄物処理基本計画の策定について、令和3年12月14日から令和4年1月14日までの期間でパブリックコメントを実施し、期間中に受けた意見から、ごみ減量の目標達成率に「目標値／実績」の表示を明記する、計画内に記載している「フェニックス最終処分場」の解説を加えるなどの修正を行った旨を説明した。

また、吉田委員から事前に送付のあった意見を受け、計画の目標年度の記述に「生活様式の変化など、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合は、計画の見直しを行う」旨の文言を追記することを提案し、本審議会の審議を経て、計画の告示を行うことが説明され、一部文言修正のうえ計画策定が承認された。

（委員からの意見）

- ・計画で掲げる、ごみの減量に関して、目標の達成状況及びごみ減量に向けた取り組みや方針を周知することが市民のやりがいに繋がる。
- ・ごみ処理について、情報の提供だけでなく、意識調査など情報の収集にも注力して、市民の意識の高揚に努めてほしい。
- ・ごみの減量を目指した先に、奈良市の価値が高まるなど、何のためにごみの減量を行うのか、示してほしい。
- ・ごみの減量を実際に取り組むのは住民であるため、住民の意欲が向上するような計画や方針を定めるべきである。
- ・ごみアプリ内の機能を用いて住民への意識調査を行うことはできないか。

など

2. 審議事項2 令和4年度奈良市一般廃棄物処理実施計画について

事務局から、令和4年度奈良市一般廃棄物処理実施計画について、令和3年度の現計画との変更点を中心に報告があった。

主な変更点として、有害ごみ（乾電池）の拠点回収の実施及び食品トレイの拠点回収終了に伴い、「家庭から排出される一般廃棄物」の表内項目の修正、食品残さや草木類の堆肥化事業をごみの発生抑制、再生利用及び適正処理に関する施策に追加したことなどが説明された。

また、一般廃棄物処理基本計画と同様に、本審議会の審議を経て、計画の告示を行うことが説明され、原案通り承認された。

（委員からの意見）

- ・令和2年度の事業系ごみ搬入量の実績に対して令和4年度の推計値の方が多くなっているが、ごみの搬入量が増えるという計画で良いのか。

→事務局から、令和2年度の実績値は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた特殊なものであるため、そのような数字になっていると回答があった。

- ・食品ロス削減の取組みに、「フードバンク事業への協力」とあるが、需給のマッチングができるシステムを作ってもらえないか。また、生産の現場まで届くような取組みを進めてほしい。

- ・有害ごみの収集や計画における記載の仕方について、なぜ有害なのか、分別が必要なのか、正しく理解できるように表現してほしい。

など

3. 報告事項1 奈良市災害廃棄物処理計画の改定について

事務局から、奈良市災害廃棄物処理計画の改定について、令和3年12月14日から令和4年1月14日までの期間でパブリックコメントを実施し、期間中に受けた意見から、基本方針に、歴史的遺産・文化財等への配慮を加え、災害廃棄物の撤去の過程で文化財等の保護に留意する旨の修正を行い、本審議会での報告の後に、計画を市の公式ホームページにて公開することを説明があった。

委員から、太陽光パネルの処分における危険性と対応について追記すべきとの意見があり、事務局から、太陽光パネルは危険物として例示があり、環境省発出のガイドライン等に基づき適切な処分が必要であることも認識しているとの回答があった。

4. その他報告事項

○食品残さ及び草木類の堆肥化事業について

事務局から、令和4年度予算が議決され、本事業に係る取組みを進めることが報告された。また、事業内容として、工場に搬入される草木類、学校給食の調理くずをもとに堆肥を作成し、市内の生産者がそれを活用してつくった農作物を地産地消するという地域循環資源サイクルの構築を目指したいとの説明があった。

委員から、堆肥については環境部局と農政部局が連携して進めた方が良いなどの意見があった。

○クリーンセンター建設計画の状況について

事務局から、計画の進捗状況について、以下のとおり説明があった。

- ・奈良県北部地域におけるごみ処理広域化については、奈良市及び斑鳩町の2市町での広域化を目指し、令和3年11月に合同勉強会及び実務担当者会合を行い、連携手法、費用負担について議論を行った。

- ・地元住民への説明について、令和3年12月に説明会及び意見交換会を実施した。

- ・令和4年度執行予定事業について、まちづくり拠点整備基本構想の策定、施設整備基本計画の策定及びPFI等導入可能性調査を実施し、環境アセスメントについての事務手続き、説明会の支援の実施、アクセス道路の整備検討、用地買収に係る調査業務を予定している。